

「共働き子育て世帯」の生活・意識に関する実態調査

ママだってゆっくり過ごしたい！
負担が大きい状況が改めて明らかに

2018年9月20日
株式会社住環境研究所

積水化学工業株式会社 住宅カンパニー(プレジデント:関口俊一)の調査研究機関である株式会社住環境研究所(所長:小池裕人、千代田区神田須田町 1-1)は、このほど「共働き子育て世帯」の生活・意識に関する実態調査を実施し、結果をまとめましたのでお知らせします。

「共働き子育て世帯」の多くが住まいづくりに関心を持っており、その困りごとを解決できる住環境の実現は住宅需要の活性化はもちろん、この世帯の暮らしをより充実した、豊かなものにするだけで社会全体へ良い影響を与えられるものと考えられます。今回は“家事”、“子どもの留守番時の心配”、“くつろぎと豊かさ”について、生活実態とどのような捉え方をしているかを調べました。

調査結果のポイント

<家事について>

1. ママの家事負担は大きい

家事負担の状況について聞いたところ、平日はママは「2～4 時間未満」(45.4%)、パパは「10 分～2 時間未満」(56.2%)が最多という結果でした。休日については、ママが「4 時間以上」(51.6%)、パパは「2～4時間未満」(38.1%)が最多であり、平日、休日ともにママの家事負担が大きいことが分かりました。

2. 洗濯物を“干す場所”にママのこだわりは強い

「住まいにどんなスペースがあるといいか」聞いたところ、「屋根のあるバルコニー」(56.7%)、「室内干し専用スペース」(48.4%)と高いニーズを確認しました。

<子どもの留守番時の心配について>

3. 三大不安は「大地震や停電」、「知らない人との接触」、「戸締り」

「小学生の子ども」「中学生～大学生の子ども」だけの留守番時間がある世帯に、心配に感じていることを聞いたところ、「大地震や停電」(前者 54%、後者 62%)、「知らない人との接触」(前者 53%、後者 50%)、「戸締り」(前者 52%、後者 46%)がトップ3でした。

<くつろぎ&豊かさについて>

4. ママは休日に自宅でゆっくり過ごしたい

理想の休日について聞いたところ、ママは「自宅で一人でゆっくりしたい」(42.8%)、「一切家事をせずくつろいで過ごしたい」(31.2%)、「外出して一人で過ごしたい」(20.2%)の順となっていました。

5. ママが住まいに求める場所は持家世帯「ママコーナー」賃貸世帯「ぐっすり眠れる寝室」

「住まいにどんなスペースがあるといいか」について聞いたところ、現在、持家の注文住宅、分譲住宅にお住まいのママでは、一人でゆっくりと過ごすことができる「ママコーナー※」(前者 46%、後者 44%)が「ぐっすり眠れる寝室」(前者 33%、後者 29%)よりも高い数値でした。一方、賃貸のマンション・アパートにお住まいのママは「ぐっすり眠れる寝室」(前者 44%、後者 46%)は「ママコーナー」(前者 39%、後者 40%)よりも魅力的に感じている傾向でした。

※独立した書斎部屋やLDK 内に設けたカウンター等、家事や趣味、持ち帰った仕事を行うスペース

調査概要

「共働き子育て世帯」の生活・意識に関する調査

調査目的:「共働き子育て世帯」の現状の住まいでの困りごとや理想の住環境を探る

調査対象:共働き且つ子育て世帯 25～39歳 男女

調査エリア:全国(うち約6割は三大都市圏)

調査方法:インターネット調査

調査時期:2018年8月

有効回答:2,486件

調査結果の概要

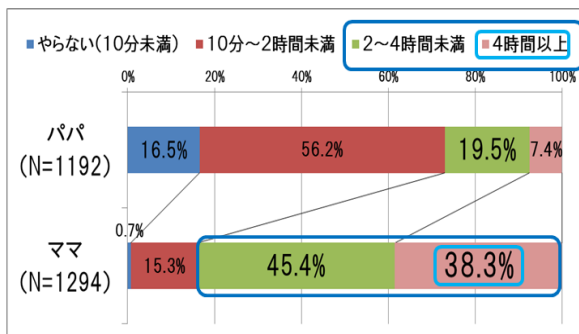
<家事について>

1. ママの家事負担は大きい

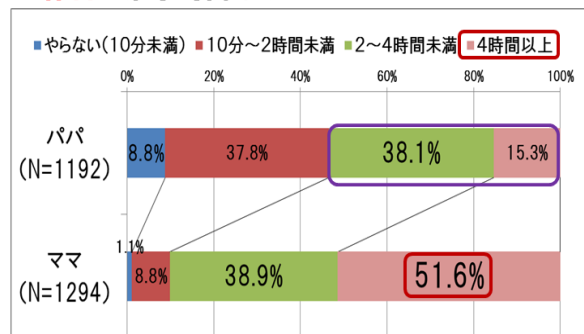
「家事負担の状況」について聞いたところ、平日では、ママは「2～4時間未満」(45.4%)が最多となり、次いで「4時間以上」(38.3%)でした。パパは「10分～2時間未満」(56.2%)が最多で、次いで「2～4時間未満」(19.5%)となっており、ママとパパの家事負担の差が大きい状況が浮き彫りになりました。

休日でも、ママが「4時間以上」(51.6%)、パパは「2～4時間未満」(38.1%)が最多であり、平日、休日ともにママの負担が大きく、夫婦での家事分担が進んでいないことが明らかになりました。

・平日の家事時間は？



・休日の家事時間は？



- ・ママの約8割は平日「2時間以上」の家事をする
- ・ママの約4割は平日「4時間以上」の家事をする

- ・パパの約半数は、休日「2時間以上」の家事をする
- ・ママの約半数は、休日「4時間以上」の家事をする

2. 洗濯物を「干す場所」にママのこだわりは強い

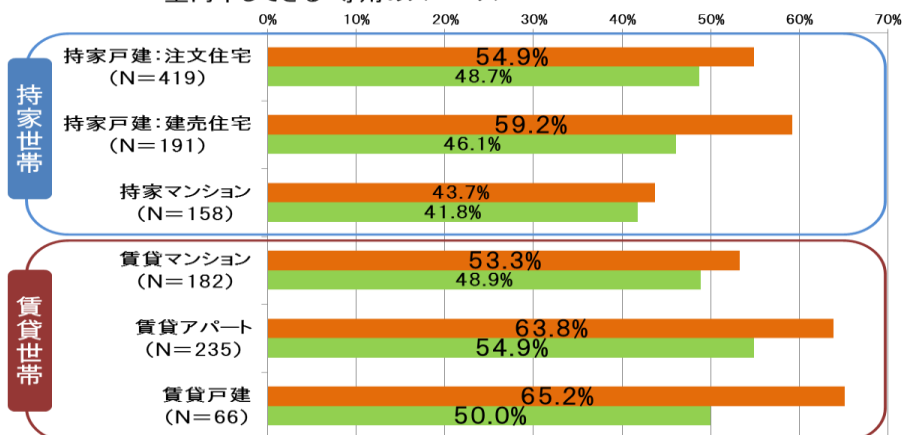
「住まいにどんなスペースがあるといいか」についてママに聞いたところ、洗濯物を干す場所として、持家と賃貸ともに「屋根のあるバルコニー」「室内干し専用スペース」は高い数値でした。

特に賃貸(アパート、戸建)においては、「屋根のあるバルコニー」は6割を超える高いニーズが確認でき、今後の持家購入時の選択基準になることが伺えます。また「室内干し」においても、「専用スペース」を持家と賃貸ともに4割以上が要望しており、干す場所へのこだわりが窺えます。

・ママに伺います。

住まいにどんなスペースがあると「良い」ですか？

- 外出中でも雨にぬれず洗濯物を干せる、「屋根のあるバルコニー」
- 室内干しできる「専用のスペース」



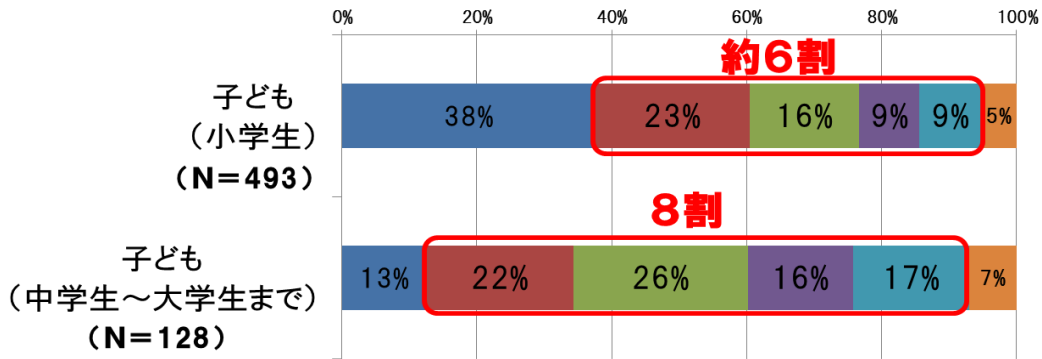
<子どもの留守番時の心配について>

3. 三大不安は「大地震や停電」、「知らない人との接触」、「戸締り」

平日「子ども達だけ」（小学生～大学生）で自宅で過ごす時間はどのくらいか（睡眠時間は除く）について聞いたところ、小学生の子どもでは「子ども達だけで留守番させている」割合が約6割、中学生以上の子どもの場合は8割にのびりました。

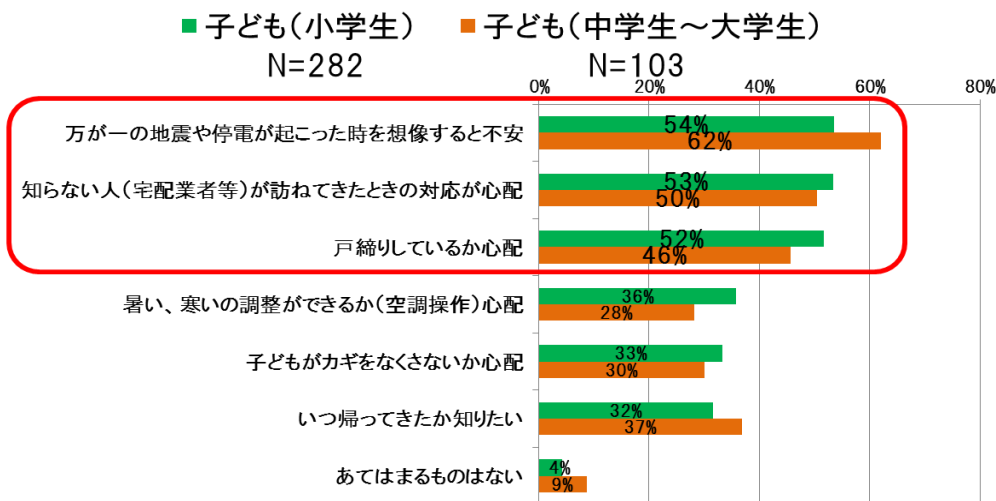
- ・平日「子ども達だけ」（小学生～大学生）で自宅で過ごす時間はどのくらいですか？
（但し、子どもの睡眠時間は除きます。）

■ 無し ■ 1時間以内 ■ 2時間以内 ■ 3時間以内 ■ 3時間以上 ■ わからない



子ども達だけでの留守番がある世帯で、心配に感じていることについて聞いたところ、小学生の子ども、中学生～大学生の子どもがいる世帯とも、「大地震や停電」（前者54%、後者62%）、「知らない人との接触」（前者53%、後者50%）、「戸締り」（前者52%、後者46%）がトップ3でした。停電時でも太陽光発電や蓄電池を活用し、自動で電気を復旧させる仕組みや、スマートフォンと連携させた来客・戸締り対応など対策が必要です。

- ・「子ども達だけ」の留守番であてはまるものは？



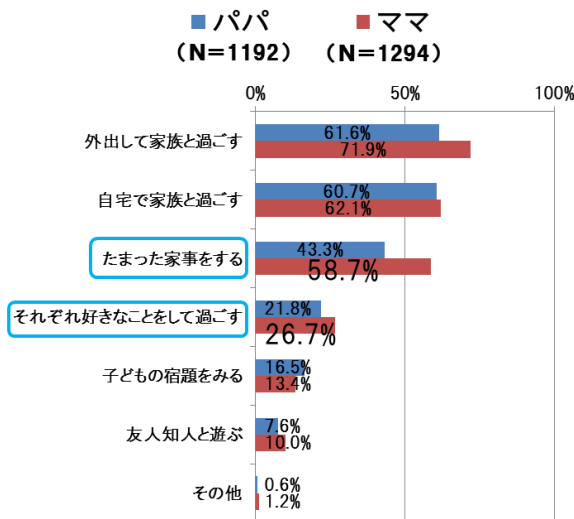
<くつろぎ&豊かさについて>

4. ママは休日に自宅でゆっくり過ごしたい

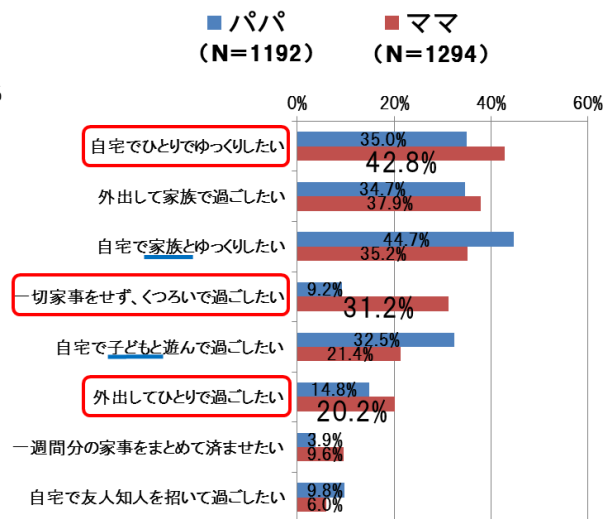
「休日に何をしてお過ごししているか」について調べたところ、ママとパパとも「外出して家族と過ごす」、「自宅で家族と過ごす」、「たまった家事をする」がトップ3でした。ママについては、「それぞれが好きなことをして過ごす」と答えた人も26.7%いました

次に「理想の休日」について聞いたところ、ママは「自宅で一人でゆっくりしたい」（42.8%）、「一切家事をせずくつろいで過ごしたい」（31.2%）、「外出して一人で過ごしたい」（20.2%）の順となっていました。一方、パパは「自宅で家族とゆっくり過ごしたい」（44.7%）、「自宅で一人でゆっくりしたい」（35.0%）、「外出して家族と過ごしたい」（34.7%）となっており、ママとパパでは休日の過ごし方の理想に大きな違いが見られました。日々の仕事と家事に追われるママは、パパに比べて「ひとりで」一切家事をせず過ごすことを望む傾向が見て取れます。

・休日は何をしてお過ごしですか？(現実)



・理想の休日は？



・休日にママの約6割は「たまった家事」に勤しむ一方、それぞれ好きなことをして過ごすも1/4いる

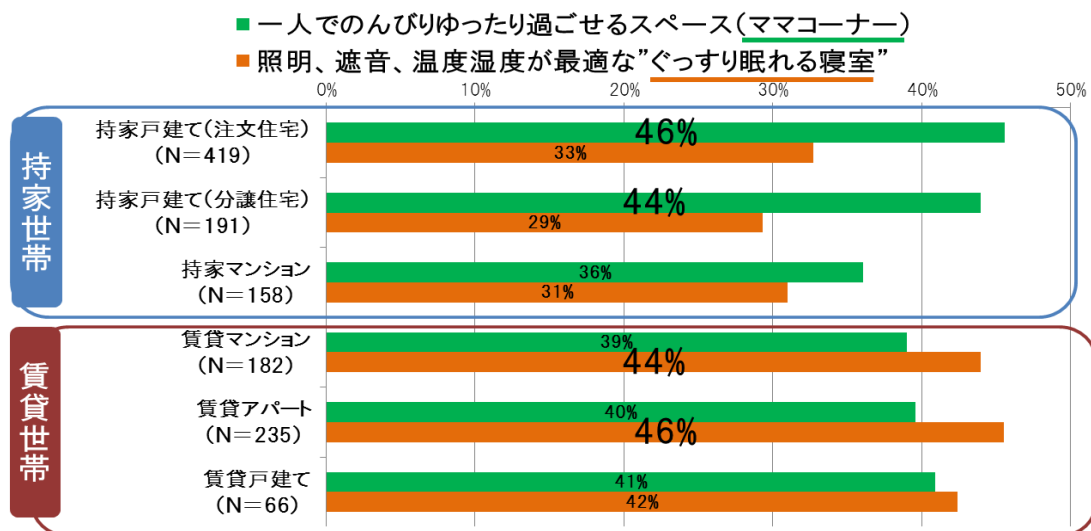
・ママの理想の休日は「ひとりで」自宅ゆっくりしたい。一切家事せず3割、ひとりで出かけも2割

5. ママが住まいに求める場所は持家世帯「ママコーナー」賃貸世帯「ぐっすり眠れる寝室」

「住まいにどんなスペースがあるといいか」について聞いたところ、持家と賃貸では大きな違いがありました。現在、持家の注文住宅、分譲住宅にお住まいのママでは、一人でゆっくりと過ごすことができる「ママコーナー」(前者46%、後44%)が「ぐっすり眠れる寝室」よりも高い数値でした。一方、賃貸のマンション、アパートにお住まいのママは「ぐっすり眠れる寝室」(前者44%、後46%)が「ママコーナー」(前者39%、後40%)よりも魅力的に感じている傾向でした。持家、賃貸のどちらの居住形態でも、共働き子育てママは、仕事と家事を両立させているため、負担が大きく、「一人でのんびりゆったりとできるスペース」「快眠寝室」を求めていることが指摘できそうです。

・ママに伺います。

住まいにどんなスペースがあると「良い」ですか？



・共働き子育てママはとても疲れている “魅力的なスペース”は
 →“持家世帯ママ”は「ママコーナー」◎
 →“賃貸世帯ママ”は「ぐっすり眠れる寝室」◎